

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和6年度
計画の実施に向けた推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

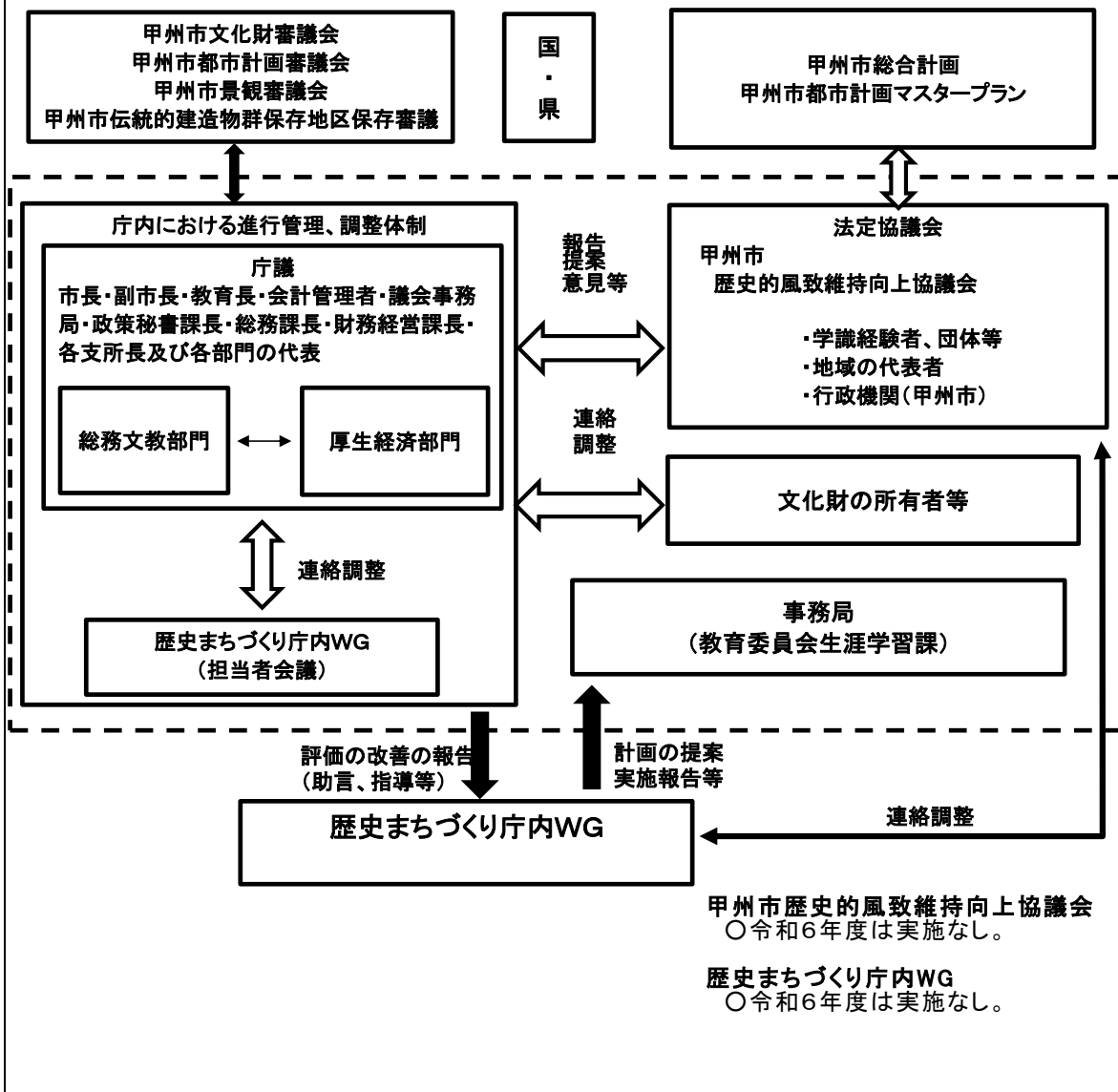
計画に記載している内容
 本計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会生涯学習課に事務局を置き、庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を行い、国や県の関係機関と協議して適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「甲州市歴史的風致維持向上協議会」において、計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

教育委員会生涯学習課文化財担当が中心となって、関係各課との連絡調整を図り各事業の推進について検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	各事業の細部のすり合わせについて、今後も担当事業課との協議と連携を密に行い調整する。

状況を示す写真や資料等



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
甲州市景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

本市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、本市の景観政策の充実と向上を図ることにより、本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成のため6つのゾーン区分を設定して、それぞれのゾーンにおける景観形成の方向性を定めている。また、景観形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが甲州市の歴史的風致と重なり、あるいは関係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。

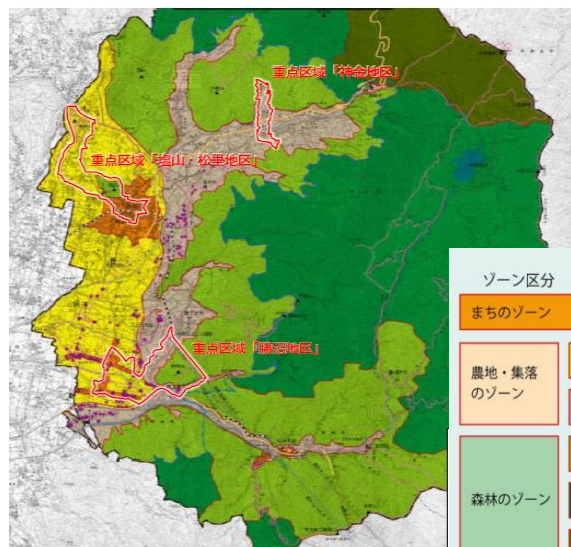
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けた。これにより事業者に対し景観への色彩基準や誘導基準による色の選び方や使い方などの啓発を行い、新築または建て替え物件についてはほぼ100%の理解を得ている。また色彩による景観形成の一環として、本市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自然色ネット等購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした(補助率50%)補助事業を実施している。

(令和6年度実績: 7件 市補助金額 150,000円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■「甲州市景観計画」に掲げたゾーン区分

甲州市景観形成ゾーン区分

ゾーン区分	詳細区分	ゾーンの特徴
まちのゾーン		都市機能や住宅が集積している区域
農地・集落のゾーン	平地農地・集落ゾーン	盆地の平坦部に立地する農地とそこにある集落
	里山農地・集落ゾーン	山裾や小丘の傾斜地に立地する農地とそこにある集落
森林のゾーン	里山森林ゾーン	集落に近く市民のレクリエーションの場になる小丘や山林
	山岳森林ゾーン	集落から離れた自然豊かな山林
	自然公園ゾーン	自然公園法により規制のある区域

汎用的なブルーの防風ネット



補助対象となる自然色の防風ネット



評価軸③-1

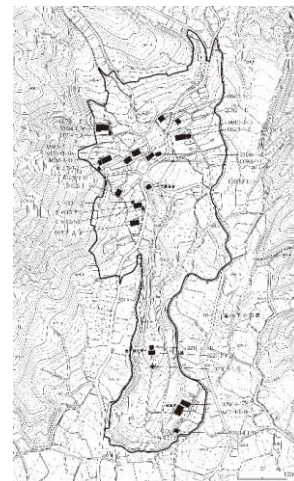
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(令和5～6年度市単独事業)	
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存・活用を図るため、建造物等の買上げや修理・修景などを行い、歴史的景観の整備を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和5～6年度は、甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物(特定物件)1件の保存のため修理工事を実施した。歴史的建造物(特定物件)をベーカリーカフェとして活用している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物(特定物件)としては、今後も所有者の意向があれば、密に連携し、補助事業として対応していく。	
状況を示す写真や資料等		

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区



【上条集落 眺望】



【上条集落 集落全体図】

歴史的建造物(特定物件)修理工事



着手前



完成後



【伝統的建造物(建築物)である個人宅修理工事】

着手日: 令和6年 2月13日

完成日: 令和6年11月26日

歴史的建造物(特定物件)をベーカリーカフェとして活

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成21年度～ 令和4年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	甲州市近代産業遺産「宮光園」について、これまで主屋、白蔵、離座敷などの修理を終えているが、東三番蔵など未修理の附属屋が残るため、保存修理を行い屋敷構えを整える。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
宮光園の保存・修理事業については、主屋、白蔵、文庫蔵・道具蔵・離れ座敷、庭園等の事業が平成27年度までに完成しているが、東三番蔵などの未修理の附属屋が残っており、これらの修理工法や敷地の活用方法など方向性について検討を行っている。令和6年度については、宮光園主屋1階玄関及び2階の桁及び梁の補強修繕などを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	宮光園の整備後、数年が経過しているため、所々修繕を必要とする箇所が見受けられるようになっている。敷地内建物の整備計画の方針の見直しを行いながら、現状維持に努めていく。	

状況を示す写真や資料等

市指定文化財 宮光園

修繕前



修繕後



【宮光園主屋 桁・梁修繕】
 着手日：令和6年 6月24日
 完成日：令和6年10月31日
 <内 容>
 宮光園主屋1階玄関及び2階の桁及び梁が、経年劣化により歪みが生じていた

未修理の建物



【 第一醸造所葡萄酒貯蔵庫 】



【 東三番蔵解体跡 】

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
史跡勝沼氏館跡保存整備事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～ 令和8年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)	
計画に記載している内容	史跡勝沼氏館跡について、整備完了後の経年劣化による修理必要箇所や、未発掘用地、未買収用地があるため、計画的に再整備を実施するほか、土地の公有化、発掘調査などを実施し整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度においては、国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)を活用事業実施は行わなかったが、次期整備に向けて、保存活用計画策定準備委員会を設立し、新たな保存活用計画策定の準備を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和7～8年度に保存活用計画を策定し、今後の史跡整備についても実施していく。	
状況を示す写真や資料等		

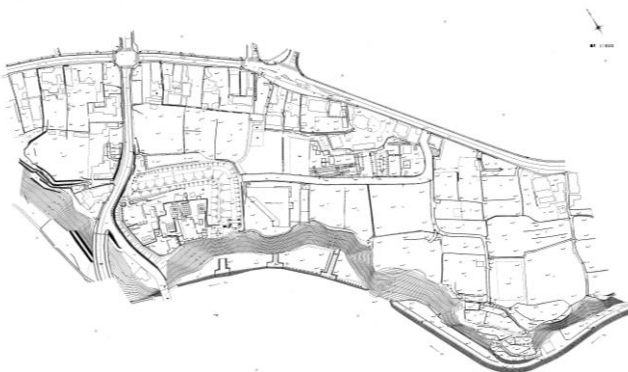
国史跡 勝沼氏館跡



【国史跡 勝沼氏館跡 案内板】



【国史跡 勝沼氏館跡 内郭】



【国史跡 勝沼氏館跡 全体図】



【保存活用計画策定準備委員会】

第1回 令和6年10月16日

第2回 令和6年11月26日

第3回 令和7年1月30日

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物を指定し、適切な修理・修景を行うことで、公開施設やガイダンス施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、塩ノ山南麓の市街地の営みにみる歴史的風致内に所在する、登録有形文化財「中央区区民会館(旧千野学校校舎)」の軒天が経年劣化により剥がれたため、改修工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市内に点在する文化財の現状から優先順位をつけて、計画的に修理・整備事業を実施できるように関係部局との調整を進めていく。令和7年度は国登録有形文化財の「旧田中銀行社屋(旧田中銀行博物館)」の外壁修理等を予定している。		
状況を示す写真や資料等			

登録有形文化財 中央区区民会館(旧千野学校校舎)

修繕前



修繕後



【塩山中央区民会館 軒天改修工事】

着手日: 令和6年 5月21日

完成日: 令和6年 6月28日

<内 容>

登録有形文化財 中央区区民会館の軒天が経年劣化により剥がれたため、改修工事を行った。

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
甲州市農村ワーキングホリデー事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度で、ブドウやモモ、スモモの栽培にかかる作業やコログキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図る「農村ワーキングホリデー」事業は、令和2年度より受入休止しているが、果樹栽培に係る農作業全般及び地域農業支援が行える人材育成として、「地域おこし協力隊(「アグリトレーニー」)」として2名を受入れた。 また、令和4年度に世界農業遺産として認定された「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム(地域:山梨市・笛吹市・甲州市)」事業として、人材育成及び普及啓発のため各種イベントを実施している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		

地域おこし協力隊「アグリトレーニー」制度を活用した果樹農家の育成

<業務概要>

【主たる業務】果樹栽培に係る農作業全般と地域農業支援

1. 果樹栽培研修

支援機関が管理するほ場において、ぶどう・桃を中心に年間を通して果樹栽培に必要な作業を実地研修することにより、独立営農に必要な果樹栽培の知識・技術を身に付けます。

2. 地域農業支援

地域農家の作業負担軽減を目的とし支援機関が受託する農作業に従事することにより、地域農家との交流を図ります。

3. 耕作放棄地対策

耕作放棄により荒れた畑は病害虫の温床になります。これを回避するため、支援機関が土地所有者から借り受けほ場として再生する作業に従事します。重機操作や伐根新植などの知識が得られます。

4. その他地域交流

地域の共同選果場等の農業施設の手伝いや地域行事の参加による地域交流で、退任後の就農を支えるネットワークづくりを図ります。

【退任後の進路】

任期を通して得た果実栽培に関する知識・技術とネットワークを基盤に、地域農業の新たな担い手として活躍する。

棚掛け技術を学ぶ！
甲州式ブドウ棚 棚掛け講習会

ブドウ畑の連なる農業景観は、世界農業遺産や日本遺産の重要な構成資産のひとつであり、認定に当たり高く評価された点の一つです。峡東地域が日本一のブドウの産地となったのは、この甲州式ブドウ棚による露地・大木柱立ての栽培方法が確立されたことが大きな要因といえます。

「甲州式ブドウ棚 棚掛け講習会」では、甲州式ブドウ棚の棚掛け技術を実際の作業を見ながら現場で学びます。

日時 令和7年2月25日(火) 9:00～12:00
※雨天の場合 令和7年2月28日(金)

講師 吉田 哲也 氏
峡東地域世界農業遺産 棚掛けマスター候補

内容 甲州式ブドウ棚の修繕方法など

会場 園場 (甲州市塩山千野1862-2)

対象者 峡東地域在住の方で棚掛けの技術を学びたい方

申込 令和7年2月20日(木)までに、フォーム(QRコード)または、FAX、メールのいずれかにてお申し込みください。
※先着15名となります。

申し込み・問い合わせ先
峡東地域世界農業遺産推進協議会
甲州市市民会館3階302号
TEL: 0556-22-0010 FAX: 0556-22-5173
E-Mail: kasei@shokuyouto-aisto.jp

畑の石積み技術を学ぶ！
石積みワークショップ

峡東地域の果樹園地は扇状地に広がっており、不整形で傾斜もある農地が多いという特徴があります。傾斜地でも果樹栽培をするために、古くは自然石による石積みなどにより、扇地の環境整備が行われてきました。

現在では、自然石による石垣からコンクリート壁へと変化してきていますが、峡東地域の果樹農業を支えてきた伝統的な石積み技術は、次世代に継承していくべき大切な技術です。「石積みワークショップ」では、石積み技術を実践を行いながら現場で学びます。

日時 令和7年3月17日(月) 9:00～12:00
※雨天中止

講師 川村 浩道 氏
(川村造園 代表)

内容 講師の指導を受けながら、石積みにより修復する。
※作業ができる服装等で参加ください。

会場 園場 (甲州市塩山下植木605)

対象者 峡東地域在住の方で石積みの技術を学びたい方

申込 令和7年3月14日(金)までに、フォーム(QRコード)または、FAX、メールのいずれかにてお申し込みください。
※先着15名となります。

申し込み・問い合わせ先
峡東地域世界農業遺産推進協議会
(甲州市市民会館3階302号)
TEL: 0556-22-0010 FAX: 0556-22-5173
E-Mail: kasei@shokuyouto-aisto.jp

【棚掛け技術を学ぶ！
甲州式ブドウ棚 棚掛け講習会】
開催日：令和7年2月25日
<主催>
峡東地域世界農業遺産推進協議会

【畑の石積み技術を学ぶ！
石積みワークショップ】
令和7年3月17日
<主催>
峡東地域世界農業遺産推進協議会

他、「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム(地域:山梨市・笛吹市・甲州市)」事業として、人材育成及

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
市内伝統芸能・祭典継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和3年度(継続中)	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供するとともに、補助金を交付するなどの支援を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市内5つの内4つの団体へ補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。担い手の高齢化や減少に伴い、一部演目を縮小して実施した伝統芸能もあったものの、多くの観客が集まり、伝統芸能の魅力を伝えた。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	担い手の高齢化等もあり、積極的に魅力ある伝統芸能の継承のため若者に啓発を行っていく。	
状況を示す写真や資料等		

甲州市の継承すべき伝統芸能・祭典



【柏尾の藤切祭 (山梨県指定 無形民俗文化財)】

【一之瀬高橋の春駒(山梨県指定 無形民俗文化財)】
実施日: 令和7年1月11日【藤木道祖神祭太鼓乗り(甲州市指定 無形民俗文化財)】
実施日: 令和7年1月12日【熊野神社御幸行列(甲州市指定 無形民俗文化財)】
令和6年度未実施【田野十二神楽(山梨県指定 無形民俗文化財)】
実施日: 令和6年1月18日

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的風致散策・景観形成協働事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～ 令和3年度(継続中)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、各歴史的風致の散策会を定期的に開催するほか、散策で気付いた点について、市民などと協働して、農業用ネットの交換やガードレールの景観色塗装など、景観形成協働事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、地元のボランティアガイド・フットパス団体及び日本遺産「日本ワイン140年史～国産ぶどうで醸造する和文文化の結晶～」事業と連携し、勝沼地域において見学会を実施し、市内外から集まった参加者に歴史的風致に触れていただいた。また、伝統的建造物群保存地区である「甲州市塩山下小田原上条」においては、毎年開催している集落見学会のほか、景観形成協働事業を実施し、景観改善の機運を醸成することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



日本遺産・世界農業遺産認定
ぶどうとワインのまちを巡る
勝沼フットパス

開催日 令和6年 11月17日(日)
※少雨決行

勝沼コンシエルジュの会と勝沼フットパスの会では、多くの皆さんにより深く勝沼の魅力を伝えるために、観光客を誘引し文化財や歴史遺産などを巡るフットパスツアーを開催します！

■集合時間 午前の部：午前10時/午後の部：午後1時30分
■集合場所 富光園(甲州市勝沼町下駒越1741)
■参加費 1人300円(入館料・資料代・保険代等)
■定員 15名程度
■コース 勝沼コンシエルジュの会・勝沼フットパスの会
■コース 富光園(集合・出発)⇒ぶどう園⇒ぶどう酒蔵⇒龍蔵セラー
ヨシヤト〜メルシャンワイン資料館⇒富光園(解散)
■申込方法:11月13日(水)までに電話で氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

【申込み・問合せ先】
甲州市教育委員会生涯学習課文化財担当(平日8:30〜17:15)
TEL:0553-32-5076

主催:勝沼コンシエルジュの会・勝沼フットパスの会
協力:あーく、こうれい、勝沼葡萄園、ワイン文化日本遺産協議会

【日本遺産・世界農業遺産認定
ぶどうとワインのまちを巡る勝沼フットパス】
開催日:令和6年11月17日

歴史的風致散策



【上条集落見学会】
開催日:令和6年7月6日、11月4日

伝統的建造物群保存地区である「上条集落」内を巡る見学会を、地元野菜収穫体験会に併せて開催。

景観形成協働事業



甲州市・お朋会
甲州市教育委員会
生涯学習課文化財担当
TEL:0553-32-5076(平日)

主催:上条を活性化する会・上条組
協力:甲州市教育委員会生涯学習課文化財担当
甲州市建設部建設課(まちづくり担当)



【上条集落ガードレール塗り】
開催日:令和7年3月8日

伝統的建造物群保存地区である「甲州市塩山下小田原上条」の景観向上のため、白く目立つガードレールを景観配慮色(甲州ブラウン)に塗り替えるイベントを開催。

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
文化財の保存又は活用の現状と今後の方針	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本市には、令和6年3月時点で国指定文化財29件(うち、国宝3件)、山梨県指定文化財82件、甲州市指定文化財155件の、合計266件の有形・無形の文化財が所在している。 これらの指定文化財は、文化財保護法や山梨県文化財保護条例、甲州市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引き続き保護のための措置を講ずる。その一方で、指定されていない歴史的・文化的価値を有する未指定文化財も数多く所在し、本市の歴史的風致の維持向上を図るうえでも、これらの未指定文化財も保存・活用を図ることが重要である。 文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解するうえで必要不可欠なものであるため、調査を行い、価値が判明したものについては市指定や国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備や防災対策等を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。令和6年度は重点区域内での修理・整備事業はなかったが、所有者及び関係者と協議の結果、令和7年度に伝統的建造物群保存地区「上条集落」内に所在する県指定文化財金井加里神社本殿及び、甲州街道沿いに所在する国登録有形文化財 旧田中銀行社屋の修理事業の実施を予定している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和6年度は重点区域内での修理・整備始業はなかったが、市内に点在する文化財の現状から優先順位をつけて、計画的に修理・整備事業を実施できるように関係部局との調整を進めていく。	
状況を示す写真や資料等		

令和7年度修理予定建造物



【県指定文化財 金井加里神社本殿】

＜修理予定箇所＞

伝統的建造物群保存地区「上条集落」内に所在する県指定文化財金井加里神社本殿の檜皮葺の屋根が腐食しており、場所によっては銅板で補修している状態であるため、葺き替え及び修理を行う。



【国登録有形文化財 旧田中銀行社屋(旧田中銀行博物館)】

＜修理予定箇所＞

経年劣化によって外壁のモルタル仕上げ部分の一部が剥離し、亀裂が入っているため、外壁修理を行う。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。当該施設としては、重要文化財旧高野家住宅、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めているところである。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市が管理する文化財施設については、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつつ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。また旧高野家住宅においては、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館(塩山図書館分館)を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財として活用されている。 また、令和6年度は第23回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり(展示会場:旧高野家住宅 他9カ所)や五月飾り展、演奏会などの開催、宮光園白蔵日本遺産ビクターセンターでは、通常非公開だった国登録有形民俗文化財「勝沼のぶどう栽培用具及び葡萄酒醸造用」の一般公開展示を行い、より広く文化財の活用ができるよう図った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		

重要文化財 旧高野家住宅(甘草屋敷)



【第23回甲州市塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】

- ・甘草屋敷 雛飾り(令和7年2月11日～4月18日)
- ・甘草屋敷おもてなし演奏会(令和7年2月11日) 他

【甘草屋敷 五月飾り展】
(令和6年4月24日～5月27日)

市指定文化財 宮光園



【第23回甲州市塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】

- ・宮光園雛飾り(令和7年2月11日～4月18日)

【宮光園コンサート】

- ・宮光園コンサートLes3 parfums Trio
(令和6年4月12日)
- ・宮光園springコンサート(令和7年2月22日) 他



【国登録有形民俗文化財
勝沼のぶどう栽培用具及び葡萄酒醸造用】
一般公開開始日: 令和6年10月3日
会場: 宮光園白蔵 日本遺産ビクターセンター

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブドウ畑の景観を残すこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」をテーマに、山梨県内初の国の重要文化的景観の選定を目指した取り組みを行っている。令和2年度、平成28年度から30年度までの調査結果をもとに、保存活用計画の検討を行い保存活用計画策定事業報告書(案)を作成した。令和6年度は、文化庁からの指導を受けながら、甲州市文化的景観保存活用計画策定アドバイザー会議を立ち上げ、計画策定に向けた取り組みを実施した。また、日本遺産事業としても、山梨県内にある各日本遺産協議会、世界農業遺産推進協議会が連携して、ブドウとワインに関する啓発セミナー、パネルディスカッションなどを開催した。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



【勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観】
甲府盆地に広がるブドウ畑 緩やかに日川が下り、甲州街道が通る



【調査報告書】
発行日：平成31年3月31日
発行：甲州市/甲州市教育委員会



【基調講演・パネルディスカッション
「かつめまの文化的景観を考えてみましょう」】

開催日：令和7年2月11日
主催：甲州市、甲州市教育委員会
後援：かつめま朝市会
NPO法人koshu勝沼文化研究所



【日本遺産普及啓発セミナー
峡東地域のワインやフルーツなどをどう活かすか！～「面」で取り組む観光地域づくり～】

開催日：令和7年3月1日
主催：峡東ワインリゾート推進協議会
共催：峡東地域世界農業遺産推進協議会

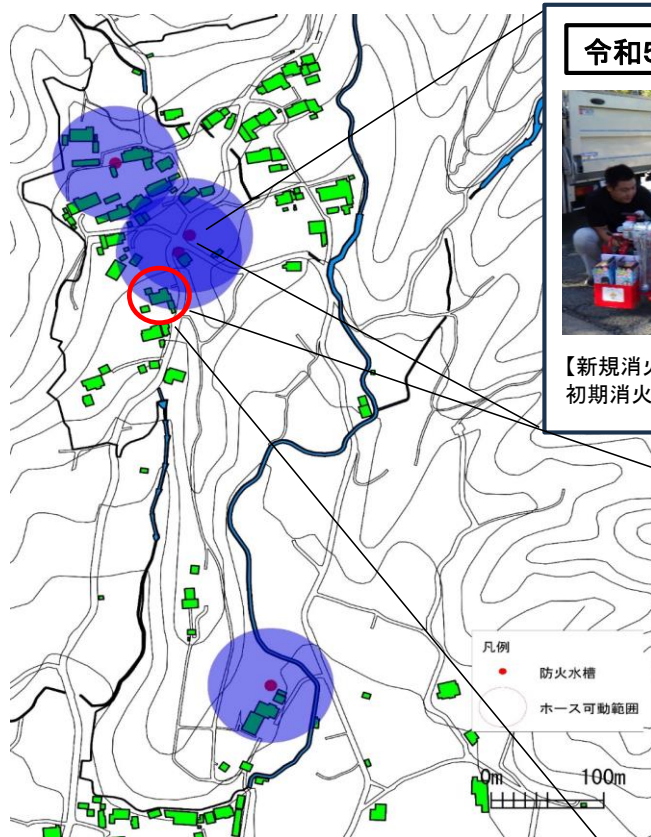
評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する具体的な計画		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	重点区域「神金地区」にある甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の多くは木造であり、傾斜地を造成して宅地としていることから、地震や火災が発生すると倒壊や火災の延焼などにより、被害が保存地区の広い範囲に及ぶことが予想される。そのため、所有者や上条組、地元消防団などと協議を行い、自主防災組織を強化するとともに、令和4年度策定した防災計画に基づき、必要な防災施設の整備等を実施する。また、所有者等と協議して、個々の伝統的建造物に対して耐震補強を行うなどの取り組みを行う。さらに、歴史的景観に配慮しつつ防犯灯を整備し、防犯対策や美術工芸品等の有形文化財が盗難に遭わないよう、地区の意識啓発に努めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度から29年度にわたり、防災計画策定に向けての現地調査を工学院大学に委託し実施し、調査結果の取りまとめ状況を甲州市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催して報告、審議を行ってきた。令和4年度に「防災計画」を策定し、令和5年度は伝建地区内に新たに初期消火用の小型ポンプを設置した。令和6年度は、歴史的建造物(特定物件)1件について、保存のため修理修景工事を実施する際して、「筋違い補強」など耐震対策をした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		今後も「防災計画」に基づき、住民の生命、身体及び財産を災害から保護し、甲州市伝統的建造物群保存地区固有の歴史的な景観を活かしたまちづくりを推進していく。	

状況を示す写真や資料等

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区 消防水利現状図



令和5年度



【新規消火設備 設置】
初期消火用の小型ポンプの導入



【既存の消火設備】

令和6年度



【特定物件の耐震対策】
令和6年度、歴史的建造物(特定物件)1件について、保存のため修理工事を実施する際して、「筋違い補強」をなど耐震対策をした。

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

評価対象年度		令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
協力隊がブドウ農園 甲州・塩山 放棄地にシャイン	令和6年5月31日	山梨日日新聞(朝刊)
大日影トンネルや宮光園などを巡る 甲州でウォークイベント	令和6年9月20日	山梨日日新聞(朝刊)
ワイン醸造用具一堂 甲州・宮光園、10年ぶり公開	令和6年10月24日	山梨日日新聞(朝刊)
日浴びてオレンジ色輝く 甲州でこころ柿作り	令和6年12月7日	山梨日日新聞(朝刊)
「田野十二神楽」獅子舞を上演 甲州 家内安全など祈願	令和7年1月20日	山梨日日新聞(朝刊)
ブドウの剪定、誘引を解説	令和7年2月12日	山梨日日新聞(朝刊)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市が歴史的風致維持向上計画の策定により、歴まち都市に認定されたことによって市民の歴史的風致を活かしたまちづくりへの関心が向上した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。

状況を示す写真や資料等

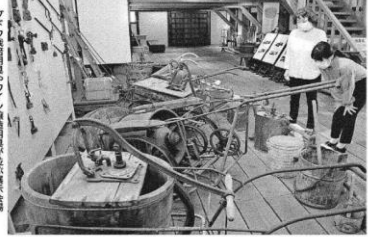


協力隊がブドウ農園

甲州・塩山 放棄地にシャイン

甲州市の地域でブドウ農園が再開され、シャイン・ナツ美の栽培が始まりました。放棄地だった土地に、協力隊の手でブドウの木が植えられ、収穫が始まりました。

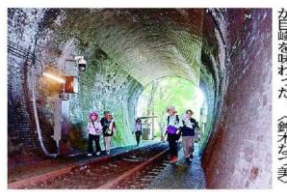
甲州市の地域でブドウ農園が再開され、シャイン・ナツ美の栽培が始まりました。放棄地だった土地に、協力隊の手でブドウの木が植えられ、収穫が始まりました。



ワイン醸造用具一堂

甲州・宮光園、10年ぶり公開

甲州市の宮光園で、10年ぶりにワイン醸造用具一堂が公開されました。甲州市の宮光園で、10年ぶりにワイン醸造用具一堂が公開されました。



大日影トンネルや宮光園などを巡る 甲州でウォークイベント

甲州市で、大日影トンネルや宮光園などを巡るウォークイベントが開催されました。甲州市で、大日影トンネルや宮光園などを巡るウォークイベントが開催されました。



「田野十二神楽」獅子舞を上演 甲州 家内安全など祈願

甲州市で、田野十二神楽の獅子舞が上演されました。甲州市で、田野十二神楽の獅子舞が上演されました。

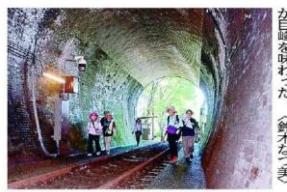


ブドウの剪定、誘引を解説

甲州市で、ブドウの剪定、誘引が解説されました。甲州市で、ブドウの剪定、誘引が解説されました。

【山梨日日新聞 令和6年5月31日掲載】

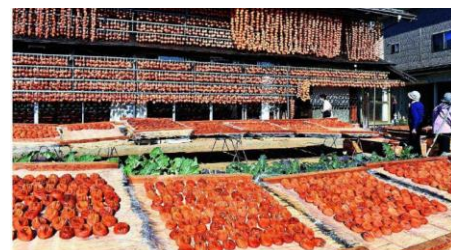
【山梨日日新聞 令和6年10月24日掲載】



大日影トンネルや宮光園などを巡る 甲州でウォークイベント

甲州市で、大日影トンネルや宮光園などを巡るウォークイベントが開催されました。甲州市で、大日影トンネルや宮光園などを巡るウォークイベントが開催されました。

【山梨日日新聞 令和6年9月20日掲載】



日浴びてオレンジ色輝く 甲州でこころ柿作り

甲州市で、こころ柿の収穫が始まりました。甲州市で、こころ柿の収穫が始まりました。

【山梨日日新聞 令和6年12月7日掲載】

【山梨日日新聞 令和7年1月20日掲載】



ブドウの剪定、誘引を解説

甲州市で、ブドウの剪定、誘引が解説されました。甲州市で、ブドウの剪定、誘引が解説されました。

【山梨日日新聞 令和7年2月12日掲載】

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和6年度
歴史的風致に対する認識向上と情報発信に関する課題			
計画に記載している内容	本市の維持向上すべき歴史的風致は、本市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、本市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
文化財全般については、甲州市ホームページ及び文化財Facebookにて随時情報発をすることに努めた。また、日本遺産「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文化的結晶～」事業として、ホームページ及びFacebookを活用した情報発信を積極的に行っている。令和6年度は新たにX(旧Twitter)を開設し、積極的に情報を発信を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		今後も積極的にSNS(ホームページ・Facebook等)を活用した情報発信を続けていきたいと考えている。	
状況を示す写真や資料等			
 【ホームページ】 甲州市  【日本遺産ホームページ】  【Facebook】 甲州市の文化財  【Facebook】 ワイン文化日本遺産協議会  【X(旧Twitter)】 ワイン文化日本遺産協議会			